



現在の子どもの様子	ねらい	行事	自己評価
<p>寒さに負けず戸外で体をおもいきり動かして遊ぶ子供の姿が多く見られる。体を動かす事で体が温まり上着を脱いで体温の調節を行っている。お楽しみ会を終え人前で話をしたり表現したりする事に自信が付いた子もいる。またクラス内で問題が発生した際、皆で話し合う機会と場所を設けるといろいろな意見が出て来ると共に、以前と比べ声を出す子が増えてきている。</p> <p>お楽しみ会では、自分の役以外にも興味を持ち終わった後もセリフを一通り言い合ったり、楽器の演奏や歌をあそびに取り入れ楽しんでいる姿が見られる。</p> <p>食事の時間、片付けの時間など事前に伝えておく事でいままでも時間が過ぎても遊び続けていた子も時間を守れるようになっている。</p>	<p>◆就学に向けて生活習慣を確立し、見通しを持って主体的な行動が出来る様にしていく</p> <p>◆園生活を振り返って大きくなった喜びを味わう</p> <p>◆年長児としての自覚を持ち年下の子どもたちに優しく接する。</p> <p>◆身の回りの自然現象。伝統行事などから春の訪れを感じ喜ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児集会 ・幼保交流 ・英語で遊ぼう ・お話し会 ・卒園式 ・お別れ会 	

内容	環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>◆健康で安全な生活に必要な習慣や態度が身に付き、自信を持って生活する。</p> <p>◆クラスの仲間と一緒に、十分に体を動かして遊びをする。</p> <p>◆お互いを認め合い、様々な遊びを楽しみながら進めていく。</p> <p>◆大きくなった喜びを感じながら、これまでしてもらったことを思い出し、話し合う機会をもつ。</p> <p>◆年下の友だちに分かりやすく話したり、一緒に取り組んだりして、当番活動や、年長の行って来たあそびなどを伝えたりする。</p> <p>◆春の自然の変化に気付き、感動したり、調べたりする。</p> <p>◆身近になる文字や数、標識などに関心を持ち、遊びに取り入れられたりしながら楽しむ。</p> <p>◆園生活を思い出しながら、卒園式の歌をみんなで唄う。</p> <p>◆工夫したり考えたりしながら、思いを込めて卒園制作を行う。</p>	<p>◆道具の安全な使い方などを再確認し、道具等の安全な使い方について話し合う機会を持つ。</p> <p>◆自分たちで見通しを持って遊びが進められるように、一日の活動を朝の会等で確認し合い、卒園までの日数など子どもたちが分かりやすい方法で伝えていく。</p> <p>◆クラスみんなで楽しめる様な遊び道具(サッカーボールや大縄跳び、ダンボールなど)を用意しておく。</p> <p>◆きりんくみで遊びに行った公園やその場その場の使い方など引き継ぐ機会を設ける。</p> <p>◆昔の写真などを用意し思いをみんなで共有しはなが出来る環境を作る。</p> <p>◆身近な自然の変化に気がつくことが出来る様に戸外に出かける機会を多く持つようにする。</p> <p>◆文字や数字、標識の関心が持て様にプリント形式の素材を用意したり、園内園外で文字や標識を見付けることが出来る様にする。</p> <p>◆みんなで決めた卒園式の歌を楽しみながら歌と共に歌の歌詞から友だちの良さを再確認出来る様にする。</p> <p>◆卒園に向けて皆で一つの物を作る楽しさを味わえる様に道具や素材の準備を行う。</p>	<p>◆生活習慣の自立について、一人ひとりの様子を確認し、必要に掛けながら、自信を持って行う事が出来る様にしていく。</p> <p>◆子どもたちが主体的に遊びをすすめて行けるように見守り、必要に応じて時間や遊びにさりげない声掛けを行いながら自分たちで見通しがもてるようにする。</p> <p>◆遊びの中でお互いの良さを認めながらたのし遊びが行える様に見守る。</p> <p>◆年下の子どもたちに今まできりんくみで楽しんできたことを伝える時間を設けると共に小学生になる期待や年下の子にいろいろ教える嬉しさを感じ自信に繋がるようにする。</p> <p>◆ひとりひとりの成長を認めながらありがとうの気持ちや大きくなった喜びを皆で感じながらお世話になった人に感謝の気持ちが持てる様な働きかけを行う。</p> <p>◆子どもが不思議に感じた事や調べたり話して気が付いた事を認め、春の訪れを楽しみに出来るようにする。</p> <p>◆皆と一緒に歌う楽しみを感じられる様にすると共に、普段から自然と口にする様な存在になるようにしていく。</p> <p>◆皆で力を合わせて一つの物を完成させる達成感を味わえる様にする。</p>	
<p>◆楽しい雰囲気の中で食事を楽しむ。</p>	<p>◆テーブルを綺麗に片付け、音声をかけたりする。</p>	<p>◆きりん組だけでなく、他クラスでも一人ひとりに食事やお世話を介する事が出来る様にしていく。</p>	

養護生(情)教育(健・人・環・言・表)

食育